

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆財政目標「25～26年度に黒字」達成できず 政府試算、改善は高成長頼み

・内閣府は2026年度の国と地方の基礎的財政収支が8000億円の赤字になるとの試算をまとめた。25～26年度に黒字化する目標は達成できない。高市早苗首相が重視する債務残高GDP(国内総生産)比は低下が続く見通しを示したが、潜在成長率の大幅な上昇などが前提で不透明な部分が多い。赤字の分は財源を国債に頼ることになる。

◆企業の資金需要9カ月ぶり高水準 利上げ後も堅調維持 日銀調査

・設備投資などに充てる企業の資金需要が堅調。日銀が22日発表した1月の主要銀行貸出動向アンケート調査によると、企業の資金需要の強さを示す指数(DI)はプラス8となり、2025年10月の前回調査から1ポイント上昇した。9カ月ぶりの高水準になった。同12月に日銀が政策金利を0.75%に引き上げた影響は出ていない。

◆1月の月例報告、景気判断「緩やかに回復」維持

・政府は1月の月例経済報告を公表した。国内の景気判断は「米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している」を維持した。5カ月連続で判断を据え置いた。個人消費は「持ち直しの動きがみられる」、設備投資は「緩やかに持ち直している」といずれも判断を維持した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆製鉄業に吹く中国デフレの寒風 25年の国内粗鋼生産、半世紀で最低

・日本鉄鋼連盟は2025年の国内粗鋼生産量が前年比4%減の8067万トンだったと発表した。新型コロナウイルスの感染拡大で低迷した20年を下回り、1969年以降で最低だった。中国の鋼材輸出が過去最高で推移し、市況低迷が常態化している。日本の鉄鋼大手は米国やインドなど成長が望める市場へのシフトを急ぐ。

◆12月ハウスメーカー受注、4社が2ケタ増 減少は4社

・ハウスメーカー各社が発表した2025年12月の戸建て注文住宅の受注速報値(積水化学工業、旭化成ホームズは集合住宅を含む)によると、前年同月比で受注が増加したのは7社で、このうち4社が2ケタ増となった。大和ハウス工業は6カ月連続、住友林業は7カ月連続で増加。ヤマダホームズとヒノキヤグループは4カ月連続の増加。

◆柏崎再稼働で原子力が電源の1割超 26年度に震災後初、2割目標は遠く

・東京電力ホールディングスは柏崎刈羽原子力発電所6号機(新潟県)を再稼働。各地で再稼働が進み2026年度は国内の電源に占める原子力の割合が1割を超える公算が大きい。11年の東日本大震災以降で最大となるものの、40年度までに2割に高めるという政府目標の達成はハードルが高い。

《 注目商品 》

■ノーリツ、オゾン水・UV除菌搭載の給湯器「GTH-C71/70シリーズ」

・オゾン水やUVによる除菌機能を備えた高効率ガス温水暖房付ふろ給湯器。独自のオゾン水除菌ユニットAQUA OZONE(アクアオゾン)を搭載。オゾン水を流して目に見えないふろ配管を除菌し、排水口にたまった水の臭いも抑制する。



■シャープ、業務用プラズマクラスター空気清浄機「FU-M1200」

・さまざまなシーンに“フィット”する「運転音」「サイズ」「空気清浄性能」を兼ね備えたプラズマクラスター空気清浄機「Purefit(ピュアフィット)」シリーズの大空間向け新製品「FU-M1200」を発売。左右両側から空気を取り入れる「Wフィルター構造」を採用。



■3つの収納スペース備えた宅配ボックス付き機能門柱

・ミラタップは、ミニマルなデザインの宅配ボックス付き機能門柱「ディポルテ」を発売。最大100サイズの荷物に対応し、庫内は郵便受け1つ＋宅配ボックス2つ(それぞれで施錠機能を装備)に分かれており最大3個の荷物を受け取ることができる。

